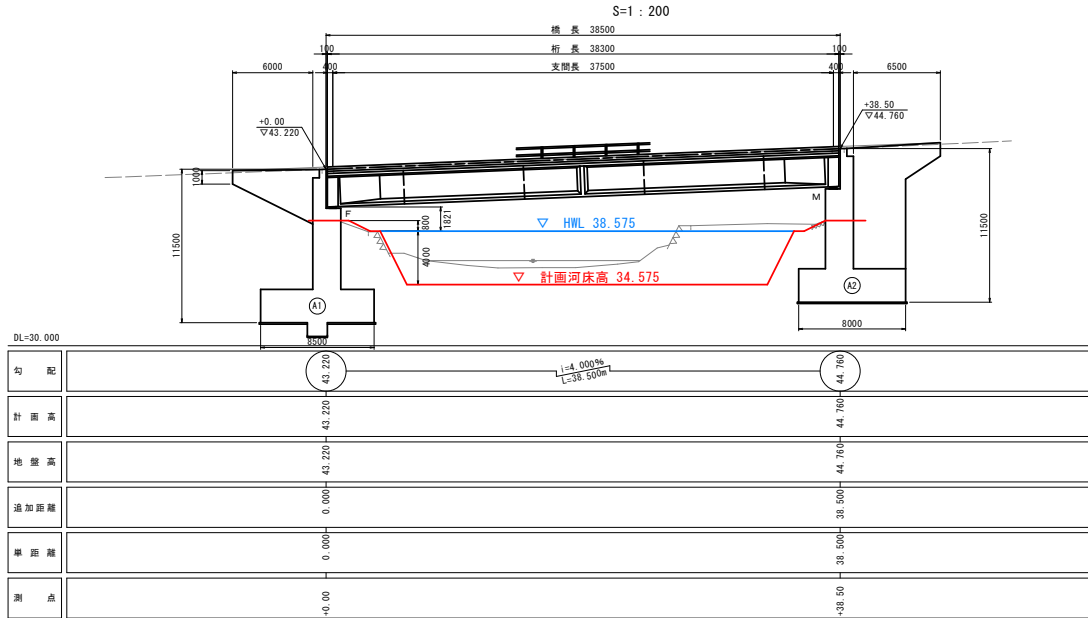


令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五戸六戸線
施設	三戸郡五戸町字狐森北 地内
現況一般図	縮尺 図 示
図面番号	14 葉中 1
三八県土整備事務所	
青 森 県	

現況一般図

※標高は「測地成果2024」を使用

側面図

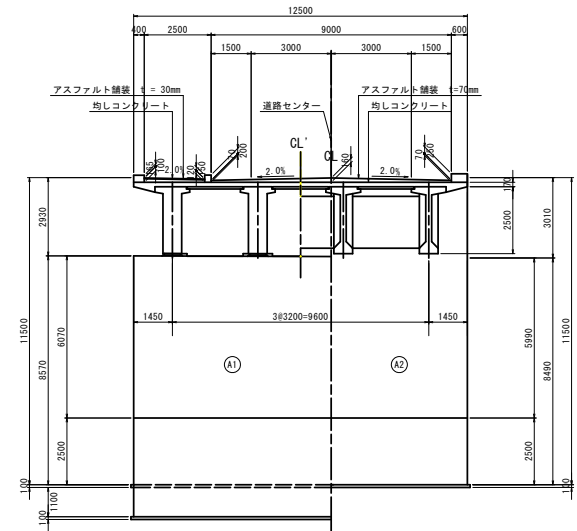


断面図

S=1 : 100

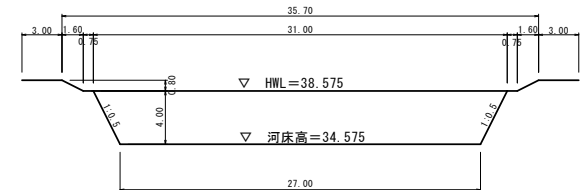
支点部

中間部



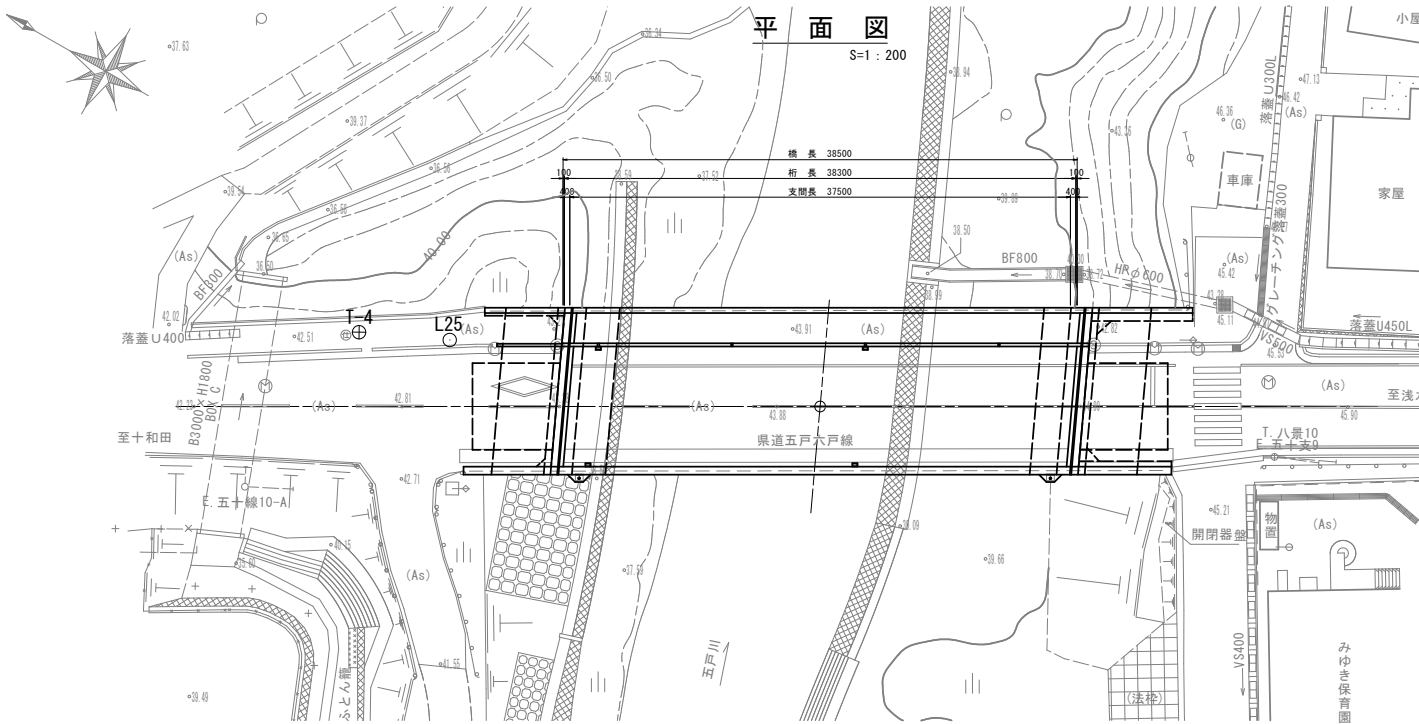
標準河川断面図

S=1 : 200



平面図

S=1 : 200



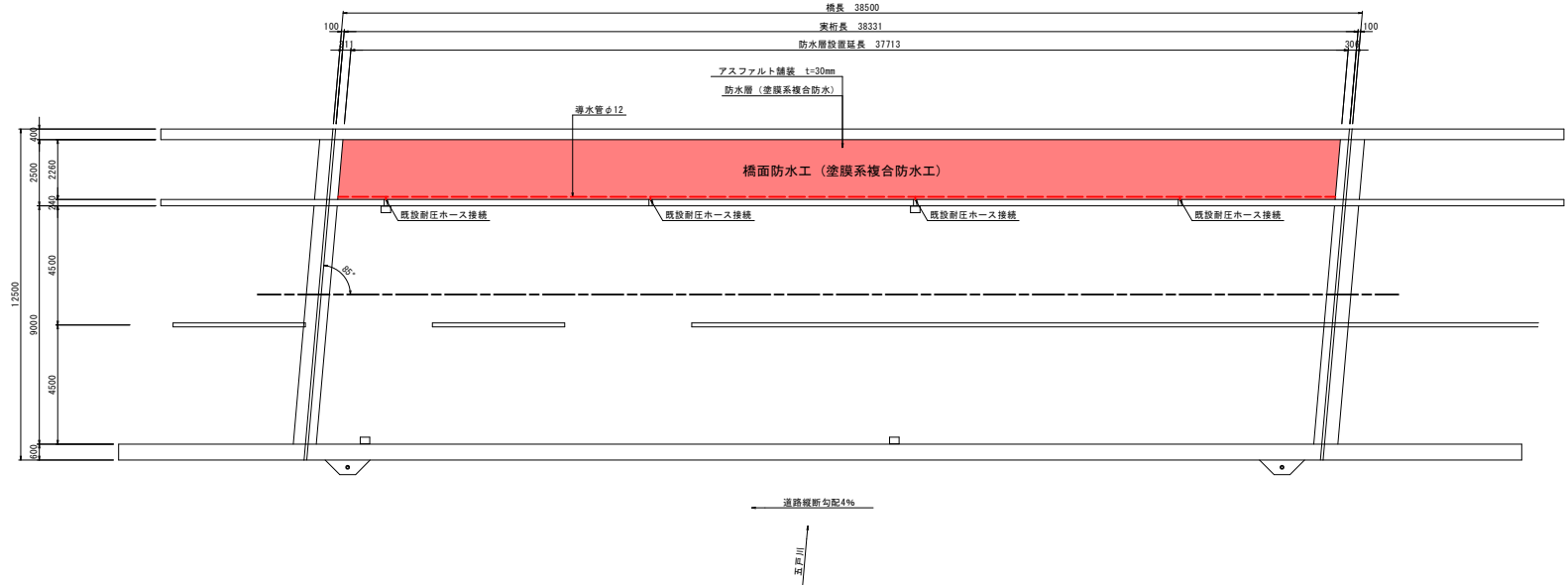
設計条件

設計区分	第3種 第3級
設計速度	V= 40 km/h
活荷重	B活荷重
橋長	38.500 m
桁長	38.300 m
支間長	37.500 m
有効幅員	(歩道) 2.500 m + 9.000 m (車道)
縦断勾配	$i=+4.0\%$
横断勾配	2.0% (歩道) 2.0% 2.0% (車道)
平面線形	直線
斜角	左85° 00' 00"
雪荷重	1.00 kN/m ²
舗装	アスファルト舗装 t= 70mm
上部工形式	ポストテンション方式単純PCコンボ桁橋
下部工形式	逆T式橋台
基礎形式	直接基礎

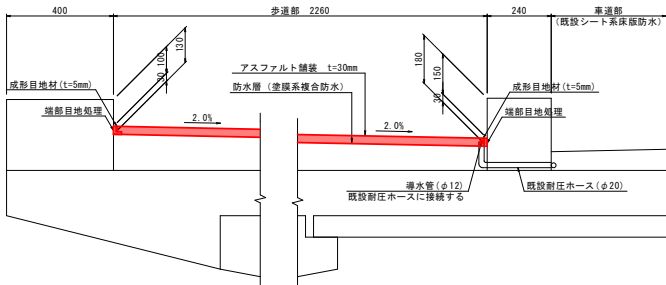
令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施工所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
橋面防水工詳細図	縮尺 図 示
図面番号	14 葉中 3
三八県土整備事務所	
青 森 県	

橋面防水工詳細図

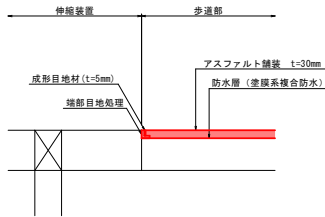
平 面 図 S=1:100



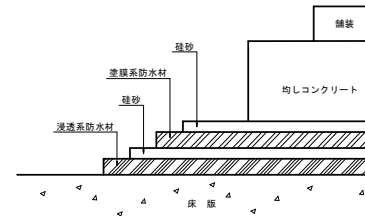
断 面 図 S=1:10



伸縮装置端部詳細図 S=1:10



塗膜系複合防水工詳細図



数 量 表

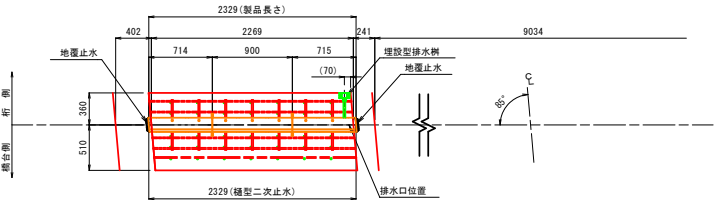
名 称	備 考	数 量
排水用導水管	φ12	37.7 m
防水層	塗膜系複合防水工	85.2 m ²
成型目地材 (t=5mm)	セロシールSS同等品以上	80.0 m
アスファルト舗装	⑦再生細粒度As (13F) t=3cm	85.2 m ²

注記

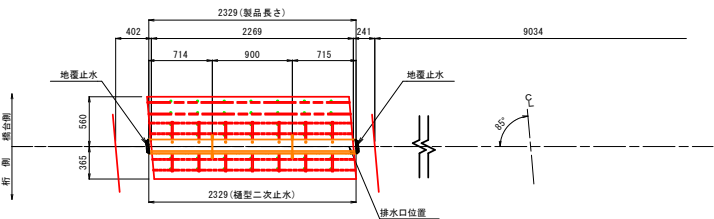
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、舗装厚の変化や寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 舗装撤去後、床版上面を点検し、コンクリート脆弱部については補修を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
伸縮装置詳細図（その2）	縮尺 図 示
図面番号	14 葉中 5
三八県土整備事務所	
青 森 県	

配置図 S=1:30
A1



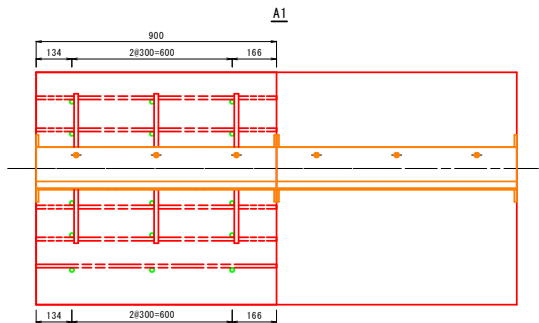
A2



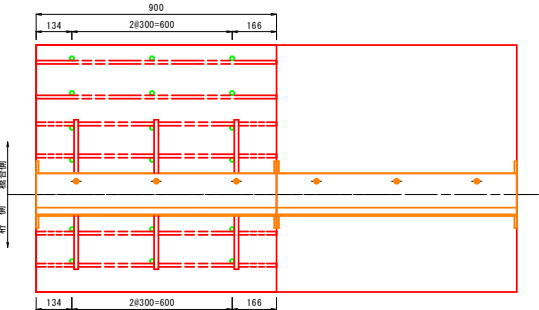
伸縮装置詳細図（その2）

A1, A2 (歩道部)

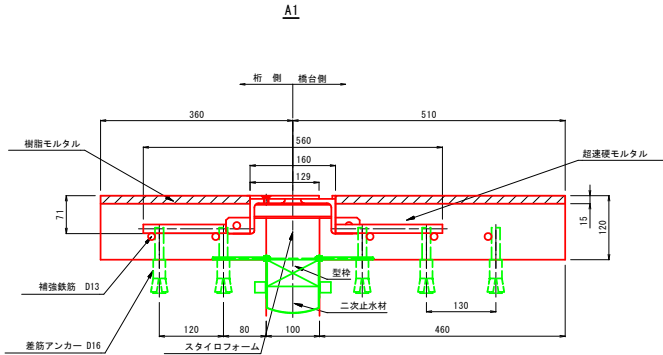
標準取付平面図 S=1:10



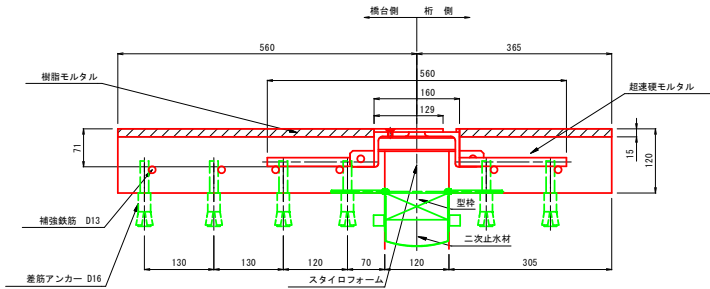
A2



標準取付断面図 S=1:5



A2

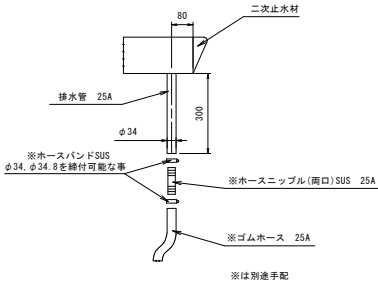


伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	HDJ-CVJ-R40	m	9.094	—	—	—	9.094	鉄製・荷重支持型
	HDJ-CVJ-R60	m	—	—	9.094	—	9.094	
	HSJ-SW-R40	m	—	2.329	—	2.329	4.658	
埋設型排水溝	HDJ-D3	個	2	—	—	—	2	高さ調整金具、フレキシブル管 (φ20mm、L=1000) 含む NETIS登録番号: HK-140002-VE
	PCD	m	—	1	—	—	1	
地覆埋込止水材	HDJ-JS-C	m	2	2	2	2	8	伸縮量20/40mm用
	HDJ-OP-R250	m	9.094	2.329	—	2.329	13.752	
二次止水 (橋型)	HDJ-OP-R250	m	—	9.094	—	9.094	9.094	伸縮量60/80mm用
	5-D13×9.04	kg	44.97	—	44.97	—	89.94	
補強鉄筋	5-D13×2.27	m	—	11.29	—	—	11.29	0.995kg/m
	6-D13×2.27	m	—	—	—	13.55	13.55	
差筋アンカー	計	m	44.97	11.29	44.97	13.55	114.78	接続1箇所あたりホース延長3mにて試算
	D16	本	200	35	200	42	477	
超速硬モルタル	φok=24N/mm2以上	m3	0.700	0.189	0.737	0.189	1.824	鉄製・歩道用
	前面修繕材	m	0.013	0.007	0.015	0.006	0.041	
アスファルト	—	m	0.346	—	0.364	—	0.710	接続1箇所あたりホース延長3mにて試算
	—	m	—	0.026	—	0.026	0.052	
ウォータース	25A	m	6.000	3.000	6.000	3.000	18.000	接続1箇所あたりホース延長3mにて試算
	SUS 25A	個	2	1	2	1	6	
ホースバンド	SUS φ34以上	m	4	2	4	2	12	接続1箇所あたりホース延長3mにて試算
	—	m	—	—	—	—	—	

型式	規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
HDJ-CVJ-R40	定尺 (L=900)	m	8	—	—	—	8	鉄製・荷重支持型
	端部 (L=450)	m	2	—	—	—	2	
	端部	m	—	—	8	—	8	
HDJ-CVJ-R60	定尺 (L=900)	m	—	—	2	—	2	鉄製・歩道用
	端部 (L=450)	m	—	—	2	—	2	
	端部	m	—	—	2	—	2	
HSJ-SW-R40	定尺 (L=900)	m	—	1	—	1	2	鉄製・歩道用
	端部	m	—	2	—	2	4	

排水口詳細図 S=1:10



- (注) 1. 二次止水材排水口からの流束は、橋面に落水せぬよう排水ホースを取付し、誘導する事。
2. 排水ホース・固定金具の取付は、足場設備にて行う事。
3. 床版間が鉄筋の場合は、排水パイプ設置に必要なスペースを確保する事。

【 指 示 事 項 】

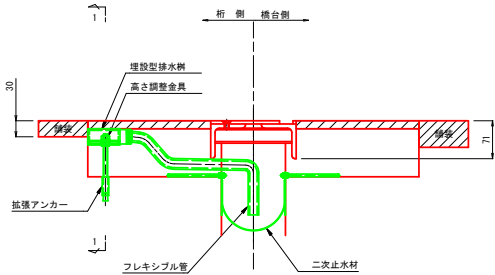
- ※ 施工にあたっては、現場実測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
- ※ 表層材は超速硬モルタル硬化後に施工を行うこと。
- ※ 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手帳書を参照すること。
- ※ 車道用 (積目地) 製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の繰り返し走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- ※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結バックンを有する製品とする。
- ※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- ※ 車道用製品はLC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。
- ※ 路面として求められる水率以上のすべり抵抗を有する製品とする。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
伸縮装置詳細図 （その4）	縮尺 図 示
図面番号	14 業中 7
三八県土整備事務所	
青 森 県	

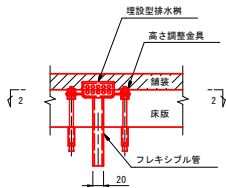
伸縮装置詳細図（その4）

歩 道 部

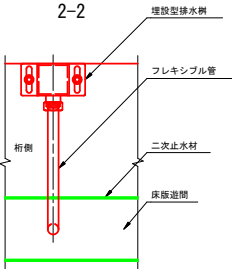
埋設型排水樹 詳細図 S=1:5
A1



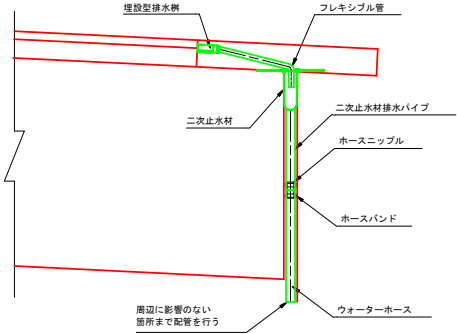
1-1



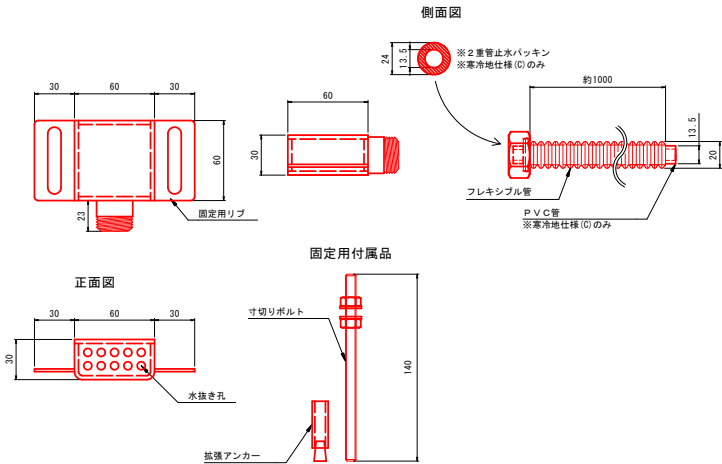
2-2



流末処理概要図 S=1:10



埋設型排水樹 製品図 S=1:2



数量表（1箇所あたり）

名 称	規格・寸法	数量	備 考
本体鋼材	SUS304 t=3mm	1式	
高さ調整金具	拡張アンカー 寸切りボルト等	1式	付属品
フレキシブル管	SUS304 L=1000 φ20(15)mm	1本	付属品

【 指 示 事 項 】

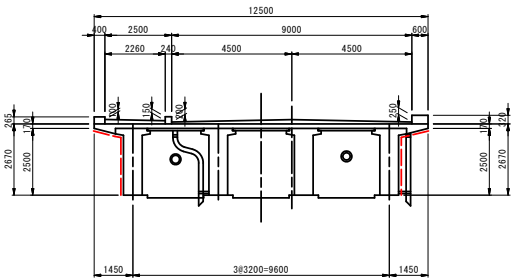
- 1) 補修箇所は、必ず、現場実測確認の上で伸縮装置本体と干渉しない位置に施工を行うこと。
- 2) 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所および寸法・数量を確認の上行うこと。
- 3) 施工のタイミングは伸縮装置の設置と同時に施工を行うこと。
- 4) 設置位置は現場状況を考慮し水勾配の下流側端部に設置すること。
- 5) 高さ調整金具で床面と排水樹の取付口底面が一致するように位置を合わせること。
- 6) 排水樹取り付けに必要な高さを確保できない場合は現場状況に応じて干渉する箇所を適宜追加ハツリすること。
- 7) 排水樹と差し筋が干渉する場合は、差し筋をカットすること。
- 8) 道間から下部へ配管を行い現場状況に応じて周辺に影響のない箇所まで流末処理を行うこと。
- 9) 排水管を延長する場合はウォーターホース、ホースニップル、ホースバンドを別途用意すること。
- 10) 排水管はサドルバンド・ブラグレスアンカー等を使い、橋台等に適宜固定すること。

令和8年度	橋梁補修（八景橋）工事
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
上部工表面処理工図	縮尺 S=1:100
図面番号	14 葉中 10
三八県土整備事務所	
青 森 県	

上部工表面処理工図

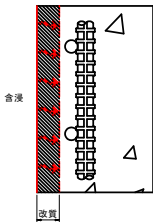
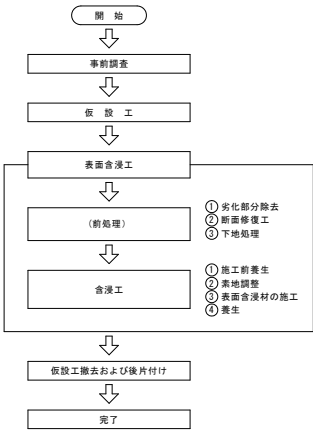
S=1:100

断 面 図



表面含浸工

表面含浸工のフローチャート

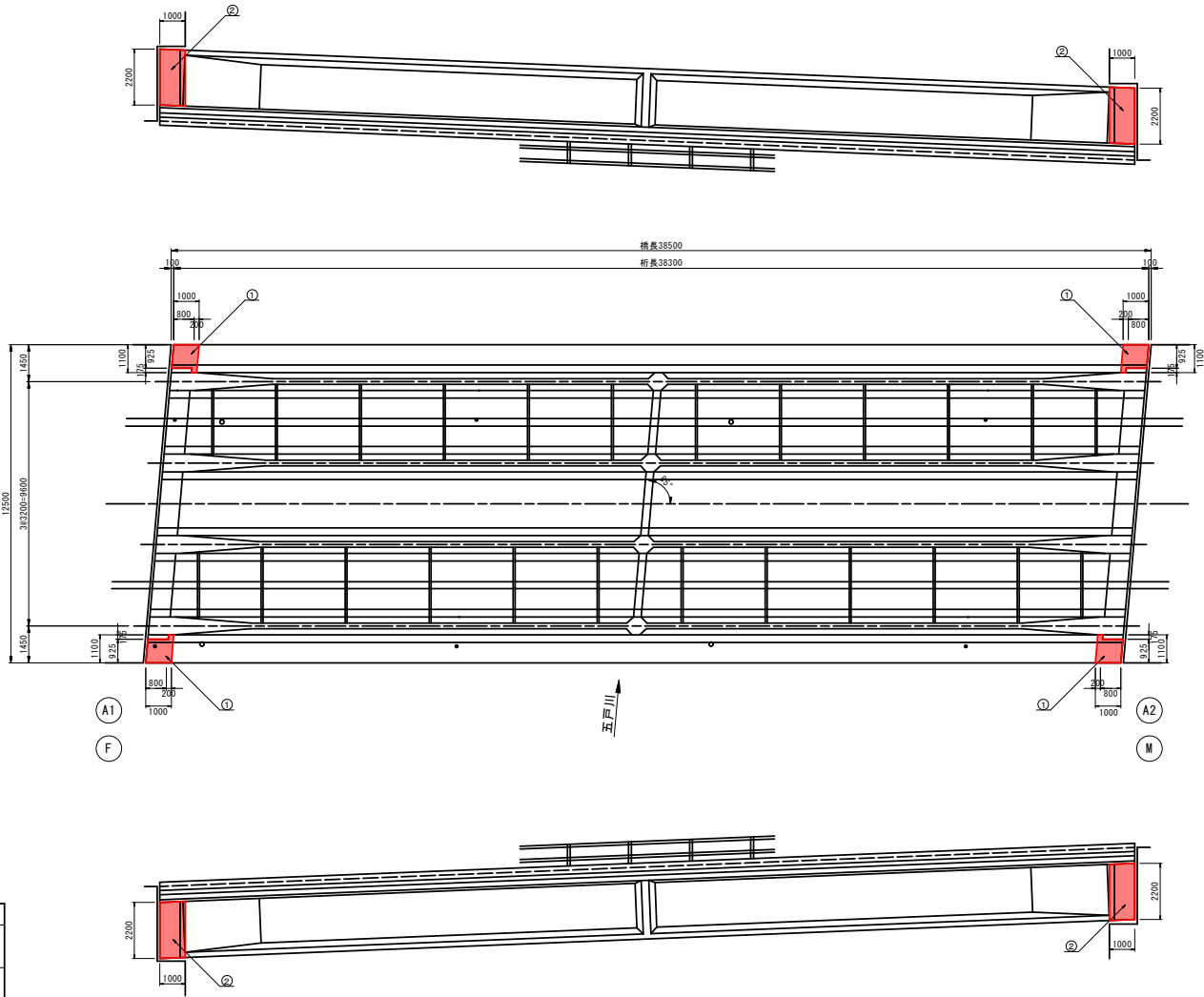


シラン系表面含浸材の施工仕様例

工 程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整、下地処理	別途	—	—
下地の確認および清掃	別途	—	
1 シラン系表面含浸材含浸	0.1~0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	6~12時間以上

材 料 表

工 種	仕 様
表面含浸工	シラン系 (標準使用量0.2kg/m ²)



表面処理工 数量表

工 法	箇所	寸 法	数 量
表面含浸工	床 版	① (0.925x1.000+0.175x0.200)x4	= 3.840 m ²
	主 桁	② 2.200x1.000x4	= 8.800 m ²
合 計			= 12.640 m ²

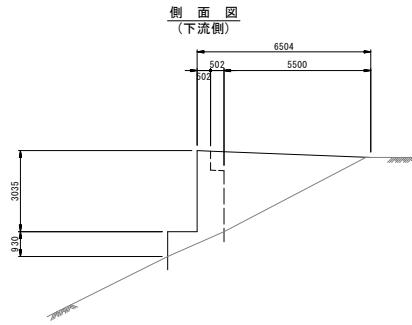
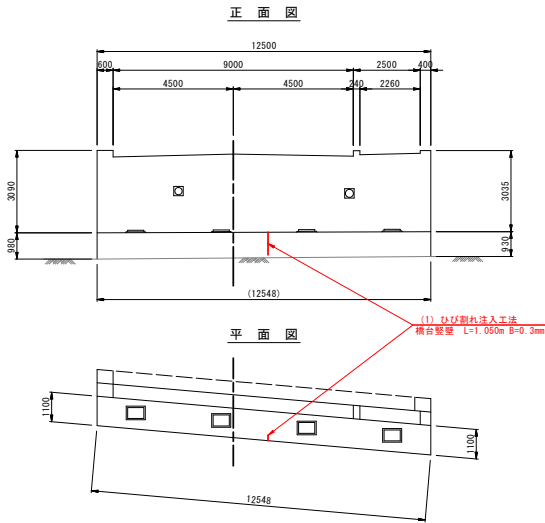
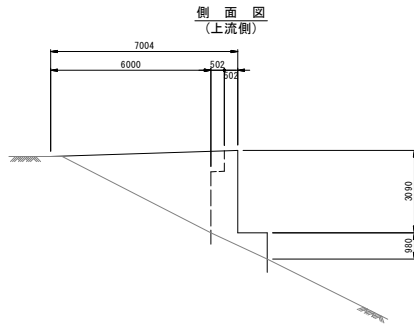
注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
- シラン系表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位、コンクリートの状態、材料の性状等によって決めること。
- 補修工事を行う際、できるだけ遊離石灰を除去し補修を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
下部工補修図	縮尺 S=1:100
図面番号	14 葉中 11
三八県土整備事務所	
青 森 県	

下部工補修図

A1橋台
S=1:100

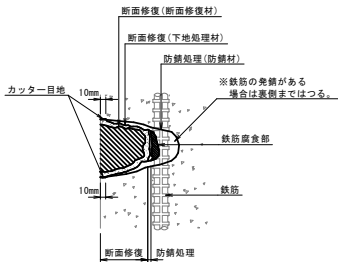


平面図

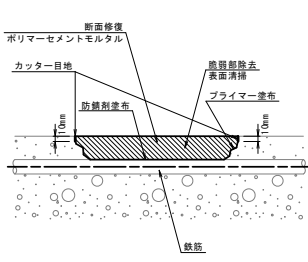
(1) ひび割れ注入工事
橋台壁壁 L=1.650m B=0.3m

断面修復工「左官工法」
No Scale

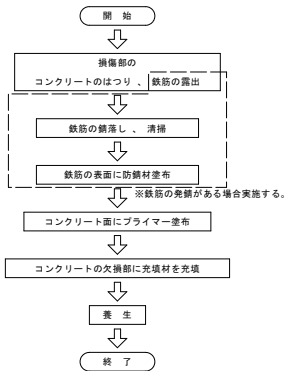
鉄筋露出、錆汁部



剥離、その他部



断面修復の施工フロー



ポリマーセメント系モルタル品質

項 目	ポリマーセメント系モルタル
硬 化 性	普通
単位容積質量	1.8~2.2kg/l
フロー	120~160
硬 化 時 間	3~8時間
圧 縮 強 度	25N/mm2以上
弾 性 係 数	1.8~3.4N/mm2
引 張 強 度	1.6~2.4N/mm2
収 縮 率	16~21kN/mm2
熱 膨 張 率	3~6N/mm2
引 張 強 度	200~1000(x10 ⁻⁶)
熱 膨 張 率	8~17x10 ⁻⁶ /°C

※出典：コンクリートライブラリー
表面保護工法 設計施工指針（案）H17.4（土木学会）

材 料 表

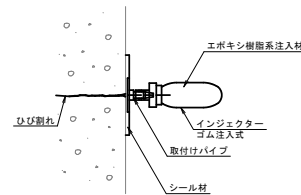
工 種	仕 様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料、有機酸、キレート化剤等
下 地 処 理 工	ポリマーセメント系ペースト材
断 面 修 復 工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

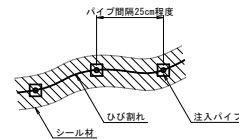
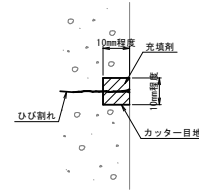
耐アルカリ性試験	差別に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8N/mm2以上

ひび割れ修復工
No Scale

ひび割れ注入工
(幅1.0mm未満)



ひび割れ充填工
(幅1.0mm以上)



注記

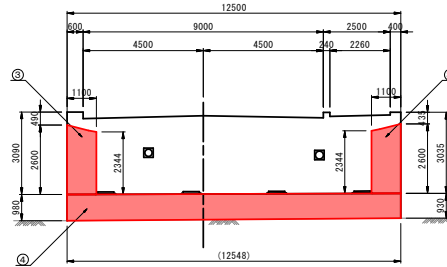
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- コンクリートの脆弱部は確実にはつり落し、補修を行うこと。
はつりは最低30mm以上は行うこと。
- 補修工事を行う際、できるだけ遊離石灰を除去し補修を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
下部工表面処理工図 （その1）	縮尺 S=1:100
図面番号	14 葉中 12
三八県土整備事務所	
青 森 県	

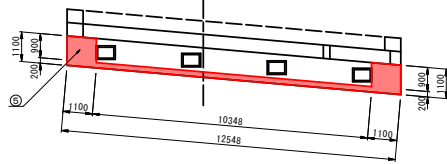
下部工表面処理工図（その1）

A1橋台
S=1:100

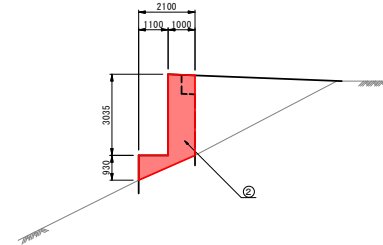
正面図



平面図



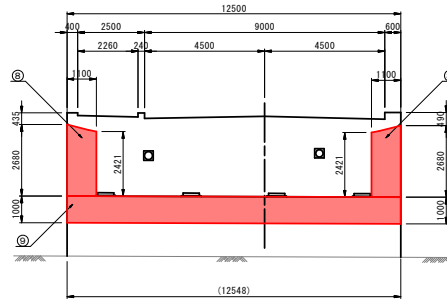
側面図
（下流側）



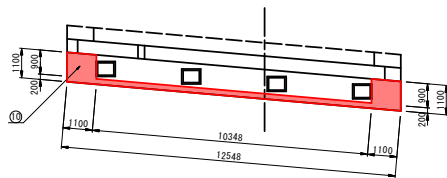
：表面含浸工

A2橋台
S=1:100

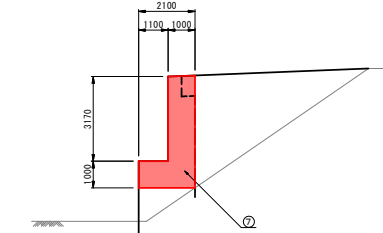
正面図



平面図



側面図
（上流側）

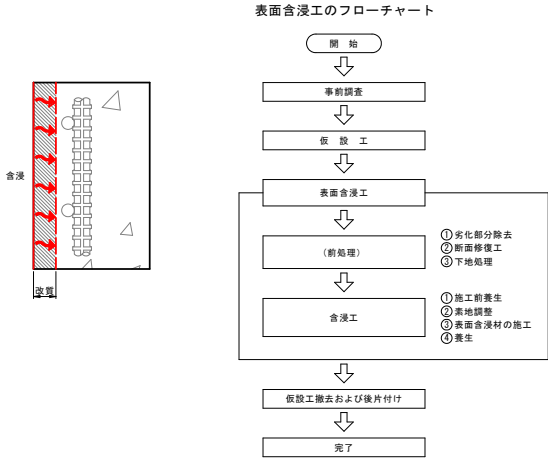


1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
4. シラン系表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位、コンクリートの状態、材料の性状等によって決めること。
5. 補修工事を行う際、できるだけ遊離石灰を除去し補修を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施工所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
下部工表面処理工図 （その2）	縮尺 S=1:100
図面番号	14 葉中 13
三八県土整備事務所	
青 森 県	

下部工表面処理工図（その2）

表面含浸工



表面処理工 数量表

工 法	箇所	寸 法	数 量
表面含浸工	A1橋台	① 3.090x1.000+0.980x2.100x1/2	= 4.119 m2
		② 3.035x1.000+0.930x2.100x1/2	= 4.012 m2
		③ (2.600+2.344)x1/2x1.100x2	= 5.438 m2
		④ (0.980+2.930)x1/2x12.548	= 11.983 m2
		⑤ 1.100x1.100x2+0.200x10.348	= 4.490 m2
	合 計		= 30.042 m2
	A2橋台	⑥ 3.115x1.000+1.000x2.100	= 5.215 m2
		⑦ 3.170x1.000+1.000x2.100	= 5.270 m2
		⑧ (2.680+2.421)x1/2x1.100x2	= 5.611 m2
		⑨ 1.000x12.548	= 12.548 m2
		⑩ 1.100x1.100x2+0.200x10.348	= 4.490 m2
	合 計		= 33.134 m2

シラン系表面含浸材の施工仕様例

工 程		標準使用量 (kg/m2)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整、下地処理		別途	—	—
下地の確認および清掃		別途	—	
1	シラン系表面含浸材含浸	0.1～0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	6～12時間以上

材 料 表

工 種	仕 様
表面含浸工	シラン系 (標準使用量0.2kg/m2)

注記

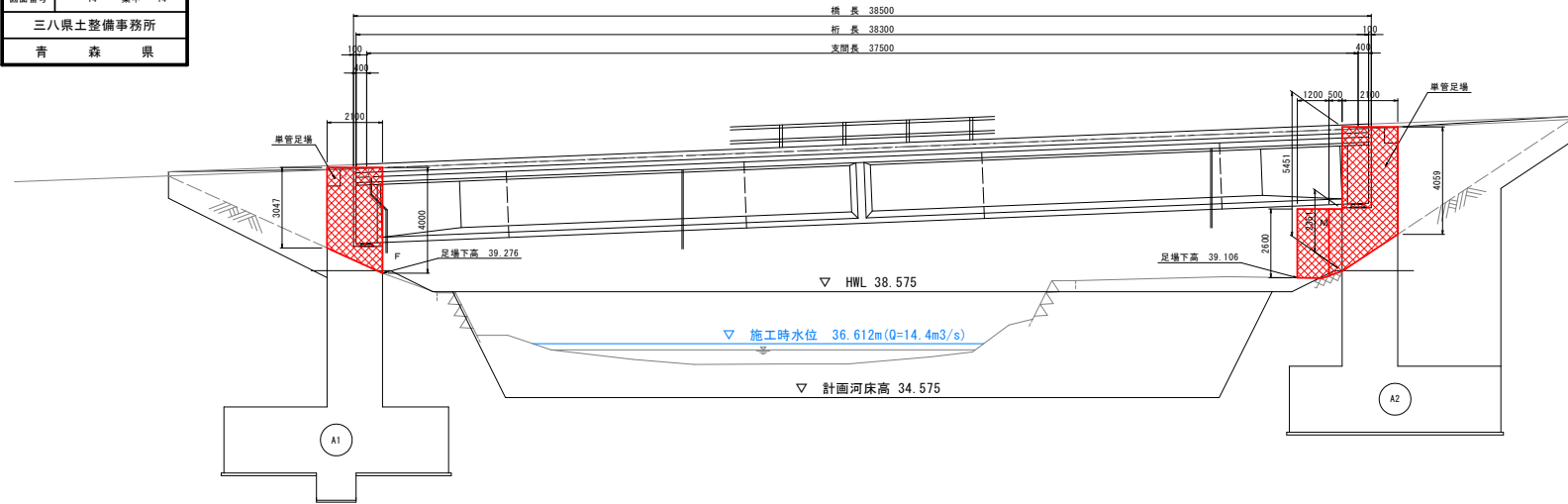
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
- シラン系表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位、コンクリートの状態、材料の性状等によって決めること。
- 補修工事を行う際、できるだけ遊離石灰を除去し補修を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（八景橋）工事	
工事番号	メンテ 第 410 号
路線名	五 戸 六 戸 線
施 工 所	三戸郡五戸町字狐森北 地内
仮設計画図	縮尺 1：100
図面番号	14 葉中 14
三八県土整備事務所	
青 森 県	

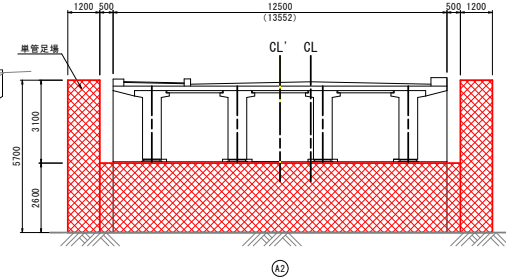
仮設計画図

(参 考 図)

側 面 図



A 2 正面図



仮設工 数量表

工 法	箇 所	寸 法	数 量
単管足場工	A1	$(4.00+3.05)/2 \times 2.10 \times 2$	= 14.805 掛m2
	A2	$((2.60+2.35)/2 \times 1.7 + (5.45+4.06)/2 \times 2.10) \times 2 + 2.60 \times 13.55$	= 63.616 掛m2
	合 計		= 78.421 掛m2

平 面 図

